報告事項No. ２

令和６年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

スポーツ庁が実施した「令和６年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、本市の結果の概要を御報告いたします。本市児童生徒の健康・体力の現状を把握し、体力向上・健康の増進に向けた教育活動の改善に役立てていきます（なお、令和２年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止しています。）。

調査の概要　**令和６年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）**

１　**調査目的**

・スポーツ庁が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

・各教育委員会が子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

・各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、体力・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

２　**調査の対象**

国公私立の小学校５年生及び中学校２年生を対象とした悉皆（しっかい）調査

・全国 小学生　約９８万人、中学生　約８７万人　　・川崎市 小学生　約１．２万人、中学生　約０．９万人

３　**調査内容**

・実技に関する調査

【小学校テスト項目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、２０ｍシャトルラン、５０ｍ走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

【中学校テスト項目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子１５００ｍ、女子１０００ｍ）又は２０ｍシャトルラン、５０ｍ走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ

・質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

４　**調査実施時期**

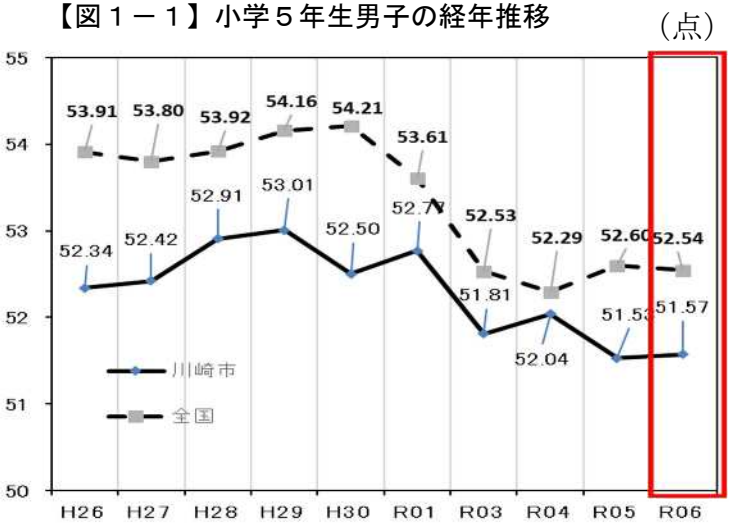
令和６年４月から７月までの間に各学校において実施

１　本市の体力の状況

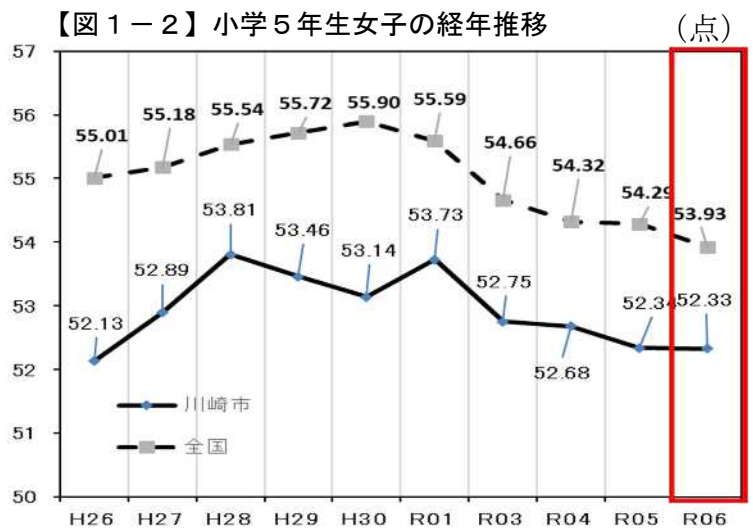
（１）体力合計点の経年推移

・本市の体力合計点（※）は、前回（令和５年度）の調査結果と比較して、小学５年生男女では横ばい、中学２年生男女では上回る結果となり、中学２年生男子では平成２６年度以降、最も良い結果となりました。

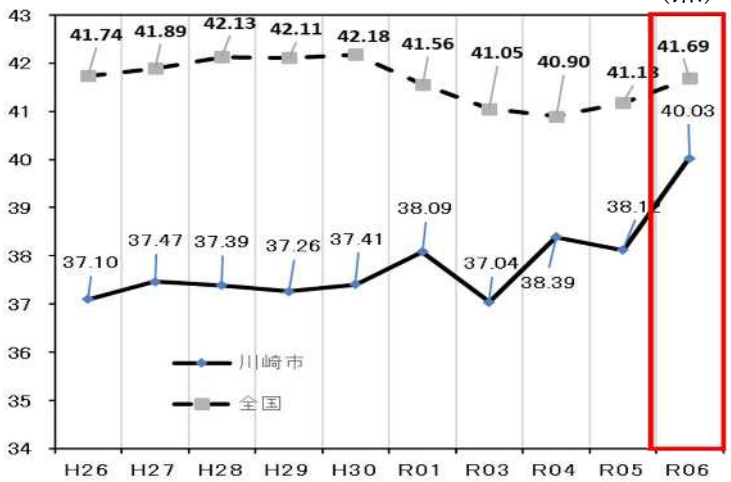
【図１－１】小学５年生男子の経年推移



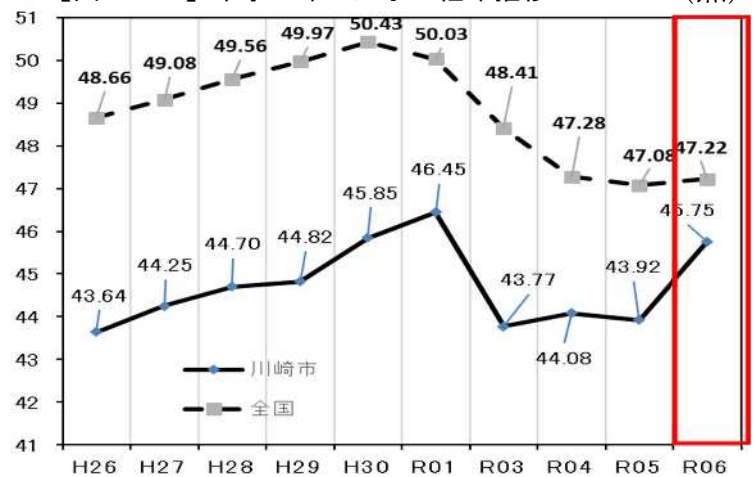
【図１－２】小学５年生女子の経年推移



【図１－３】中学２年生男子の経年推移



【図１－４】中学２年生女子の経年推移



※体力合計点　実技に関する調査の各種目の測定値を種目別得点表（学校種で異なる）に当てはめ 10 段階で得点化し合計した数値

（２）種目ごとの平均値の比較

・小学５年生男女では握力及び長座体前屈が、中学２年生男子では上体起こし及び持久走が、中学２年生女子では握力、上体起こし及び持久走が、それぞれ全国平均を上回っており、その他の種目は小中学生ともに全国平均を下回っています。

・本市の体力合計点を全国と比較すると、小中学生ともに全国平均を下回っています。

【表１】種目ごとの平均値の比較

※持久走と５０ｍ走は、数値が小さいほど速く走れていることを示します。

		握力（kg）	上体起こし（回）	長座体前屈（cm）	反復横とび（点）	持久走（秒）（※）	20mシャトルラン（回）（※）	50m走（秒）	立ち幅とび（cm）	ボール投げ（m）	体力合計点（点）
小学5年生男子	全国	16.02	19.19	33.79	40.67		46.90	9.50	150.46	20.74	52.54
	川崎市	16.32	18.86	35.85	37.89		42.31	9.51	147.97	19.61	51.57
小学5年生女子	全国	15.78	18.16	38.21	38.71		36.60	9.76	143.18	13.15	53.93
	川崎市	15.87	17.72	40.20	35.55		31.21	9.82	140.58	12.36	52.33
中学2年生男子	全国	28.91	25.82	44.32	51.49	411.68	78.65	7.99	197.16	20.49	41.69
	川崎	28.90	25.85	42.02	50.21	404.85	77.75	8.16	192.27	20.40	40.03
中学2年生女子	全国	23.14	21.47	46.44	45.67	309.90	50.48	8.96	166.22	12.32	47.22
	川崎市	23.22	21.69	45.10	44.68	304.71	49.81	9.03	161.03	12.04	45.75

２ 運動習慣等の状況

（１）運動やスポーツすることは「好き・やや好き」と回答した割合

・本市の運動やスポーツをすることは「好き・やや好き」と回答した割合は、小学５年生男女と中学２年生男子では全国平均とほぼ同じですが、中学２年生女子では全国平均より低い傾向が見られます。

【表２】運動やスポーツすることは「好き・やや好き」と回答した割合

	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
全国	93.3%	86.2%	90.3%	76.8%
川崎市	93.0%	85.8%	88.3%	71.0%

（２）授業以外での運動やスポーツの１週間の総運動時間

・本市の１週間当たりの総運動時間は、小学５年生男女では全国平均を下回りましたが、中学２年生男女では全国平均を大きく上回っています。

【表３】授業以外での運動やスポーツの１週間の総運動時間

	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
全国	548.7分	331.06分	736.78分	506.72分
川崎市	544.3分	322.86分	894.34分	642.13分

３ 生活習慣の状況

（１） １日当たりの睡眠時間の割合

・本市の１日当たりの睡眠時間が８時間以上の割合は、小学５年生男女では全国平均とほぼ同じですが、中学２年生男女では全国平均より低い傾向が見られます。

【表４】１日当たりの睡眠時間の割合

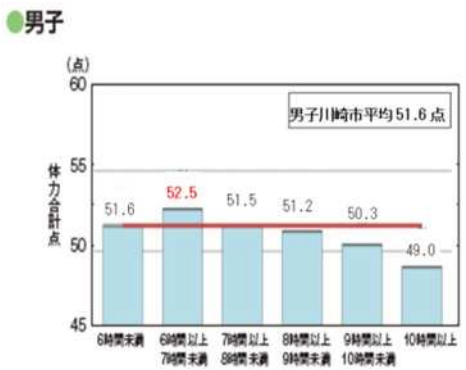
		男子						女子					
		１０時間以上	９時間以上１０時間未満	８時間以上９時間未満	７時間以上８時間未満	６時間以上７時間未満	６時間未満	１０時間以上	９時間以上１０時間未満	８時間以上９時間未満	７時間以上８時間未満	６時間以上７時間未満	６時間未満
小学５年生	全国	10.9%	27.5%	30.8%	19.5%	8.0%	3.3%	10.3%	29.6%	31.7%	18.5%	7.6%	2.4%
	川崎市	11.3%	26.4%	31.2%	21.2%	7.2%	2.7%	10.1%	28.0%	31.4%	20.1%	8.0%	2.3%
中学２年生	全国	2.7%	8.1%	24.6%	36.4%	21.4%	6.9%	1.6%	5.9%	19.2%	34.4%	28.9%	10.0%
	川崎市	2.5%	7.0%	21.6%	39.2%	22.7%	7.1%	1.4%	4.7%	16.5%	36.8%	30.5%	10.1%

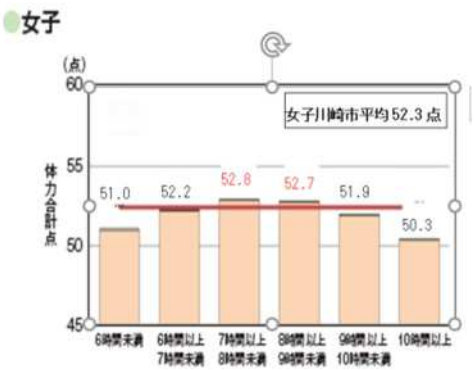
※クロス集計（睡眠時間と体力合計点の関連）

小学５年生男子では「６時間以上７時間未満」のグループが最も体力合計点が高く、小学５年生女子では「７時間以上８時間未満」のグループが最も体力合計点が高かった。

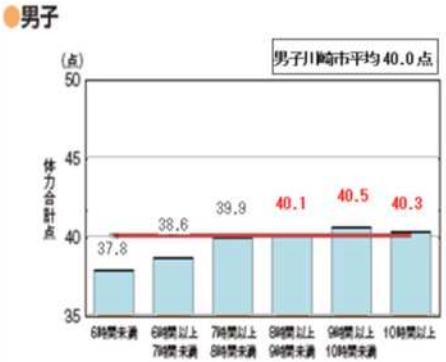
中学２年生男子では「９時間以上１０時間未満」のグループが最も体力合計点が高く、女子では「８時間以上９時間未満」及び「９時間以上１０時間未満」のグループが最も体力合計点が高かった。

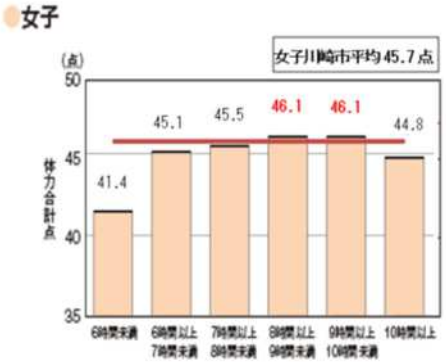
小学５年生





中学２年生





（２）学習以外での平日１日当たりのＴＶ、ＤＶＤ、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面の視聴時間（スクリーンタイム）の割合

・本市の１日当たりの画面の視聴時間が３時間以上の割合は、小学５年生男女では全国平均よりやや低く、中学２年生男女ではやや高い傾向が見られます。

【表５】学習以外での平日１日当たりのＴＶ、ＤＶＤ、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面の視聴時間（スクリーンタイム）の割合

		男子							女子						
		5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない	5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない
小学5年生	全国	18.5%	11.0%	14.6%	20.4%	22.0%	11.7%	1.8%	14.5%	10.4%	13.8%	19.6%	23.5%	16.1%	2.3%
	川崎市	18.7%	10.5%	13.6%	19.6%	22.3%	12.9%	2.4%	14.8%	10.9%	12.0%	18.0%	24.0%	17.6%	2.7%
中学2年生	全国	17.2%	11.8%	20.3%	26.6%	18.7%	4.7%	0.7%	16.0%	11.9%	20.5%	26.2%	19.2%	5.8%	0.5%
	川崎市	18.0%	12.2%	21.3%	27.0%	17.1%	3.8%	0.6%	15.0%	12.1%	22.3%	26.5%	18.1%	5.5%	0.4%

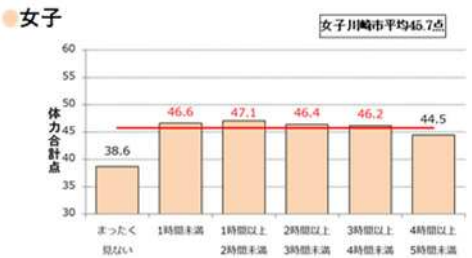
※クロス集計（ＴＶ、ＤＶＤ、ゲーム機等の画面を見る時間と体力合計点との関連）

小学５年生男女では視聴時間が３時間未満の各グループの体力合計点は川崎市の平均値より高かった。

中学２年生男子では全く見ないと１時間未満を除き、４時間未満の各グループの体力合計点は川崎市の平均値より高く、中学２年生女子では全く見ないを除き、４時間未満の各グループの体力合計点は川崎市の平均値より高かった。

小学５年生

中学２年生



（３）朝食を毎日食べると回答した割合

・本市の朝食を毎日食べると回答した割合は、小学５年生男女と中学２年生男子では全国平均とほぼ同じですが、中学２年生女子では全国平均より低い傾向が見られます。

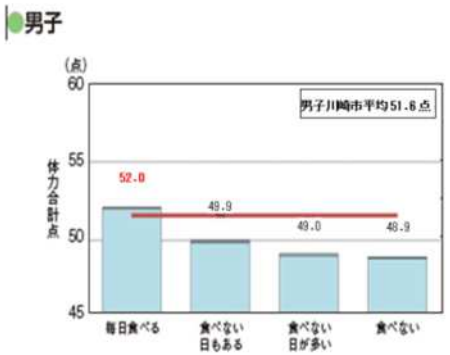
【表６】朝食を毎日食べると回答した割合

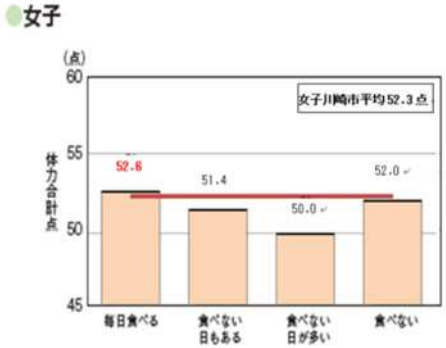
	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
全国	81.3%	79.5%	81.7%	74.5%
川崎市	81.3%	79.7%	80.0%	71.8%

※クロス集計（朝食を食べることと体力合計点との関連）

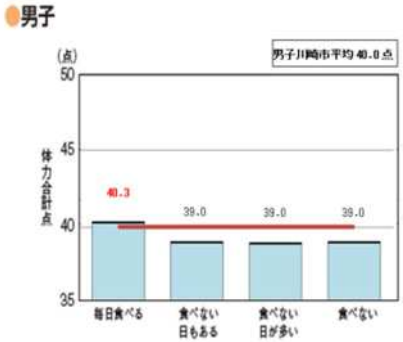
小学５年生、中学２年生男女ともに、朝食を「毎日食べる」グループが最も体力合計点が高かった。

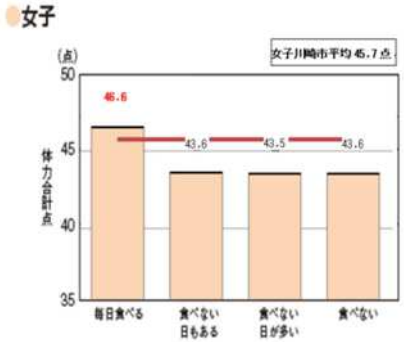
小学５年生





中学２年生





４ 調査結果から見える本市の現状と課題

・本市の児童生徒の体力・運動能力は、前回（令和５年度）の調査結果と比較すると、全国平均を上回る種目が増え、小学５年生男女・中学２年生男女の全てで、体力合計点が全国平均値に近づきました。小学５年生男女では反復横跳び及び２０ｍシャトルランが、中学２年生男女は立ち幅跳びが、全国平均値と差があり、引き続き、各体力・運動能力を向上させる動きを普段の体育活動に積極的に取り入れる等の工夫が必要であると考えます。

・運動やスポーツをすることは「好き・やや好き」と回答した割合が、小学５年生男女・中学２年生男女の全てで全国平均より低くなっています。児童生徒の体力向上を図るため、運動の楽しさや喜びを味わうことのできる体育の学習内容の工夫に加えて、生活の中に運動を取り入れ、定着させるための取組を更に進めていくことが必要であると考えます。

・生活習慣等の調査から、全国平均と比べると、中学２年生男女では睡眠時間が短く、スクリーンタイムが長くなっている傾向となっています。また、中学２年生女子では朝食を毎日食べる割合も少ないことから、生活習慣等について意識を持ち、調和のとれた規則正しい生活の大切さを理解できるよう、保健の学習内容を工夫する必要があると考えます。

５ 今後の取組について

・児童生徒が、運動することの大切さや楽しさを実感し、自分の生活スタイルの見直しなどの意識を高めるとともに、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成することができるよう、体育の学習の充実をはじめ、普段の生活や日常生活の中で、運動に親しむ機会の確保、学校行事や部活動、家庭との連携など、様々な場面を通して、運動に親しむ取組を推進します。

具体的な取組

・スポーツ庁から提供されるデータをもとに、専門家の指導を参考にしながら、自校の調査結果の分析・考察を行うとともに、児童生徒が自分の体力を GIGA 端末等の活用によって「見える化」し、児童生徒一人ひとりが適切な目標を設定し、休み時間や体育・保健体育の学習等で体力の向上が図られるよう、各学校の授業等の工夫・改善を行います。

・児童生徒にスポーツの楽しさや素晴らしさを感じてもらうため、川崎市をホームタウンとして活躍するかわさきスポーツパートナーや実業団チーム等が、小学校に出向き指導する「ふれあいスポーツ教室」の実施をはじめ、新たに小学校における体力向上の取組である「かわさきキラキラチャレンジ」のお手本動画を作成するなど、引き続き、「スポーツのまち・かわさき」の強みを生かしながら、関係機関と連携・協力した取組を進めてまいります。

・児童生徒が、学校以外でも運動に親しむことができるよう、簡単に取り組める運動を GIGA 端末を活用して紹介するとともに、生活習慣の改善などを積極的に行えるよう、家庭にも情報発信してまいります。